

だい ぶ かだい
第5部 課題

だい かい
第15回

まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクール

ぜんこくたいかい
全国大会

か だい
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん
第5部 和文A 小学生低・中学年

かんようく
ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

1. けいぎいん しじ しょうし て ふ
競技委員の指示があるまで、この用紙に手を触れないでください。
2. けいぎいん しじ けた さんかばんごう はんかくすうじ にゅうりよく
競技委員の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. かだい にゅうりよく ぜんかくもじ かいぎよう じすう かぞ
課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数え
ます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,400字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく いんよう ぶんしょう げんぶん と こ
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい
るため、ぎょうとう ぎょうまつ きんそくもじ く ばあい かだいぶんしょう
行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど
おりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省


もんぶかがくしょう
文部科学省



こうせいろうどうしょう
厚生労働省





けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか





1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。





※  の箇所で行 (Enter) してください。





いきが^{なが}長い 
ひとつの^{ひと}仕事^{しごと}をあきることなく^{ちようき}長期にわたって^{つづ}続けているさま





。
いきの^{なが}長いすぐれた^{げいじゅつかつどう}芸術活動^{たい}に対して、^{ぶんか}文化くんしょうが^{おく}贈られた。 





うわの^{そら}空 
^{こころ}心がうきたって、^お落ち着^つかないようす。 
^{あす}明日から^{なつやす}夏休みだというので、^{せいと}生徒は^{せんせい}先生の^{ちゆうい}注意を^{そら}うわの空
で^き聞いている。 


^て手にあせをにぎる 
あぶないものごとやはげしい^みあらそいを見て、はらはらする
。
えいがで^て手にあせをにぎる^みばめんを見て、^{からだ}体をのり^だ出した。 


^{くも}雲をつかむ 
^{ものごと}物事がはっきりしないで、ぼんやりしていてとらえどころが
ないようす。 
^{はなし}かれの話は、^{くも}雲をつかむ^{ないよう}ような^{おお}内容^{しん}が多く^{しん}信じられない。 


^{くび}首を^{なが}長くする 
まちどおしくおも^みうきもち。 
りょこうの^{けいかく}計画^たを立てて、^{くび}首を^{なが}長くして^{なつやす}夏休みをまつ。 


おねがいっぱいになる 
^{つよ}強い^{なに}かんだう^{かんが}をうけて、ほかのことは何も^{なに}考えられなくなる
。
テレビドラマを見て、おねがいっぱいになった。 


あっけにとられる 
^{おも}思いがけないことに、あきれて、ぼんやりする。 

^{つよ}強いチームにぎゃくてんして^か勝ってしまったので、あっけにとられてしまった。☞



^ひ^{ばな}火花をちらす☞

はげしくぶつかってあらそうこと。☞

^{いし}^だ石田くんと^{もり}^{やま}森山くんが^ひ^{ばな}火花をちらしてぎろんしている。☞



きつねにつままれる☞

きつねにばかされたときのように、わけがわからなくなり、ぼんやりする。☞

だめだとあきらめていた^{がっこう}学校の^にゆうしが^{ごう}かくだったと^き聞かされ、きつねにつままれたような^{きぶん}気分だ。☞



^{いた}板につく☞

^し^{ごと}仕事などになれてびったりなじんでいるさま。ふくそうやたいどなどが^あしっくり合っているさま。☞

^に^ど二度目なので、ぎちょうぶりは^{いた}板についてきた。☞



^{かど}^と角が取れる

^{ひと}人がらや^{せい}^{しつ}性質がおだやかで^{えん}^{まん}円満になること。☞

^{わか}若くて、らんぼうな^{ひと}人も^{とし}年とともに^{かど}^と角が取れて、やさしくなるという。☞



はらがすわる☞

どきょうがあり、びくびくしないでおちついている。^{こころ}心がおちついてびくともしない。☞

はらがすわっている^{あに}兄は、いつも^{ひと}ぼくのたよりになる人だ。☞



ひぎをのりだす☞

あることに^{こころ}心を引かれる。また^{すす}進んで^{じぶん}自分からやろうとする



。☞
^{いぬ}犬の話になると^{ちち}父はすぐに^だひぎをのり出して^{はな}話してくれる。☞



二の足をふむ

ためらって、どうしようかとまよう。ためらう。しりごみする。

いちどしっばいしたことはない、どうしても、二の足をふんでしまう。

↓

ね耳に水

思いがけないできごとが、とつぜん起きてびっくりするようす。

たんにんの先生がとつぜんやめるなんて、まるでね耳に水だよ。

↓

身につける

体にぴったりとくっつけるようにして持つ。いふくを着る。

ちしきや学もん、ぎじゅつなどをしゅうとくする。

姉は英会話を身につけ、しごとにやくだてようとおもっている。

↓

額に汗する

額にいっぱい汗を流すなど、一生けんめいに働く。

ボランティアの仕事で、額に汗する。

↓

足をのばす

のびのびとゆっくり休むこと。決めていたところより、もっと遠くまで行くこと。

いつもより足をのばして、となりの町のデパートで買い物をした。

↓

かたを落とす

思い通りにならず、がっかりする。元気をなくす。

子ねこがゆくえふめいになったと、かのじょはかたを落としていた。

↓

はくし
白紙にもどす

なに
何もなかった初めの状態にもどす。

いけん おお
意見が多すぎて、まとまりがつかず、明日もう一度白紙にもどして
はな あ
話し合うことになった。

あな
穴のあくほど

め
目もそらさず、じっと見つめる。

おとうと
弟はありのえさ運びのようすを、穴のあくほど見ている。

かたをもつ

みかたになつてたすける。

はは あに
母はいつも兄のかたをもつ。

み
実を結ぶ

どりょく
努力しただけ、十分な結果がえられる。

まいにち れんしゅう み おす すいえい きゅう あ
毎日の練習が実を結び、水泳の級がまた上がった。
